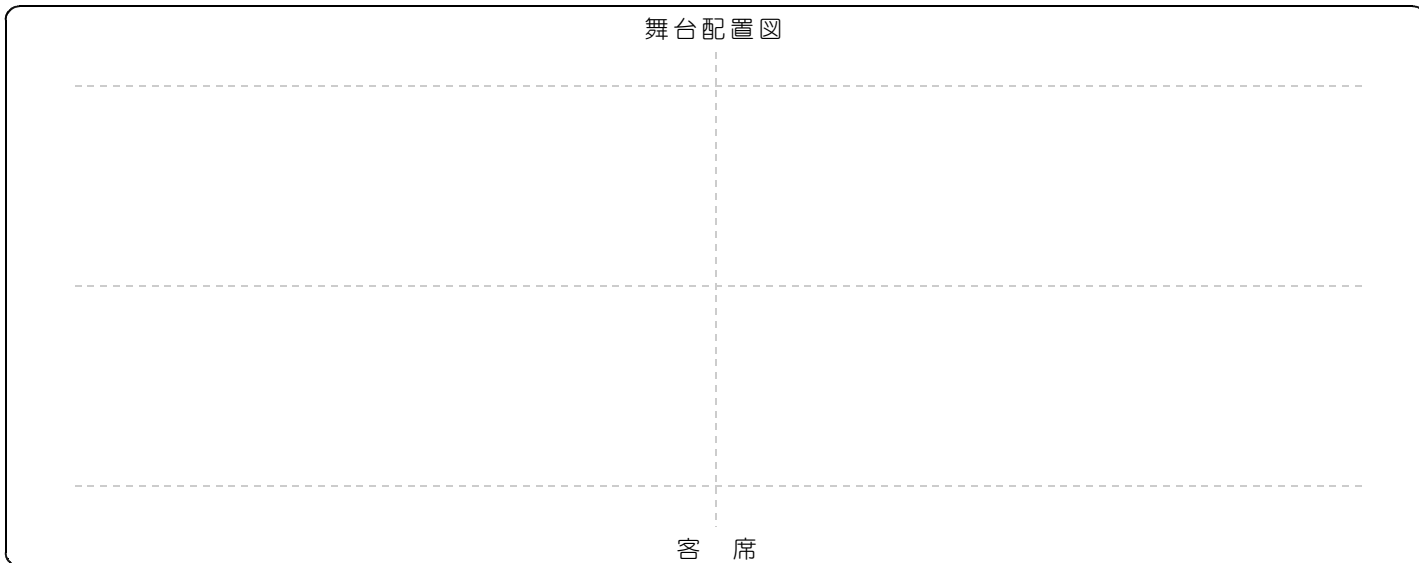


No.	六 花 幻 想	演奏者数	演奏時間
-----	----------------	------	------

舞台配置図



客 席

表示記号一覧	- 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44		編成：箏										
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾
箏	D	D#	A	C	D	D#°	G	A	C	D°	D#°	G°	D°
													A
平調子より四九一音↑ 巾は十の甲 二は六の乙 一は五の乙													

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

曲年 1987年 委嘱者 香田律子 構成 箏独奏 時間 9分 出版楽譜 無し

解説 六花、それは降るというより舞うという表現が相応しい雪。毛羽のように、また小さな花びらのように、舞いおり、舞い上がる。それは見る人の心をうつして嬉しくもあり、哀しくもある。1987年12月に、ふと思いついたように書いた曲で、気の向くままに綴ったとでも言おうか、幻想の雪を心で遊ぶ時のやすらぎに等しい。

1987年作曲。[作曲者] 収録媒体 -